

パソコンバンクサービスVALUX接続用 ＜機種変更用＞マニュアル

＜第1版＞

目次

STEP 0 事前確認 p.2

- 1 パソコン(OS/.NET Framework)
- 2 周辺機器 (プリンタ)
- 3 インターネット回線
- 4 電子証明書

STEP 1 事前作業 p.4

- 1 データのバックアップ

STEP 2 インストール p.5

- 1 Access Runtimeのインストール
- 2 パソコンバンクサービスVALUX接続用のインストール

STEP 3 データ復旧 p.11

- 1 全銀データベースの復旧
- 2 ANSERデータベースの復旧

STEP 4 電子証明書管理・その他 p.13

- 1 電子証明書管理
- 2 ソフトのバージョンアップ
- 3 操作マニュアルのダウンロード

STEP5 確認 p.17

- 1 復旧済データの確認
- 2 通信確認
- 3 印刷確認
- 4 データ伝送のテスト送信

本書は、機種変更時に必要な対応について記載したマニュアルです。
パソコンバンクサービスVALUX接続用の通常操作について一定の理解があることを前提としております。

Step 0. 事前確認

1 パソコン

■ OSについて

パソコンバンクサービスVALUX接続用をインストール可能なパソコンはマイクロソフト社が提供しているWindowsOSに対応したパソコンです。

なお、マイクロソフト社がサポート終了したOSにつきましては、インストールに関するサポートは行うことができませんのでご注意ください。

パソコンバンクサービスVALUX接続用にインストール可能なWindowsOSの最新情報につきましては、当行ホームページよりご確認ください。

【当行ホームページ操作手順及びURL】

ホーム ▶ 法人のお客さま ▶ 振入金確認の効率化(EBサービス) ▶
パソコンバンクサービス ▶ パソコンバンクサービスVALUX接続用 ▶
VALUX接続用ソフト(当行ソフト)のご利用環境

URL <https://www.smbc.co.jp/hojin/eb/valux/>

※その他ご注意事項につきましても上記ホームページからご確認ください。

■ .NET Framework (ドットネットフレームワーク)について

パソコンバンクサービスVALUX接続用のご利用には、「.NET Framework4.8」以上の導入が必要です。導入されていない場合、パソコンバンクサービスVALUX接続用のインストールメニューよりインストールしてください。(詳しくはp8をご覧ください)

なお、「.NET Framework4.8」のインストール中に発生したエラーにつきましては、当行で対応できませんので、マイクロソフト社のホームページ等でご確認ください。

2 周辺機器

■ プリンタ

A4単票出力が可能なプリンタをご利用ください。

※ドットインパクト(連続帳票式)プリンタはご利用いただけませんのでご注意ください。

3 インターネット回線

インターネット回線をご利用ください。

通信可能なポートやドメインを制限している場合、証明書の新規取得・更新、VALUX 通信が行えない 可能性があります。

その際は以下のポート番号、ドメインを許可することをご検討ください。

【ポート番号】

443(プロトコル:https)

【ドメイン】

- ・VALUX 通信 : <https://ebsrv.anser.or.jp>
- ・証明書の新規取得 : <https://crtget.nttdata-vnx.com>
- ・証明書の更新 : <https://crtchg.nttdata-vnx.co>

※メインメニューの「各種バージョンアップ」、「金融機関情報」より通信する際は、別途「<https://smbc-dlserver.com>」の接続の許可が必要です。

4 電子証明書

利用中のパソコンに登録されている証明書を他のパソコンへ移すことはできません。

新しいパソコン用のVALUX証明書の追加申込みが必要です。

詳しくは、NTTデータ VALUXカスタマーセンタのホームページをご覧のうえ
お手続きください。

VALUXカスタマーセンタ ホームページアドレス <https://www.valux.ne.jp/>

※旧パソコンでご利用のVALUX電子証明書につきましては、不要になった時点で失効手続きを行ってください。

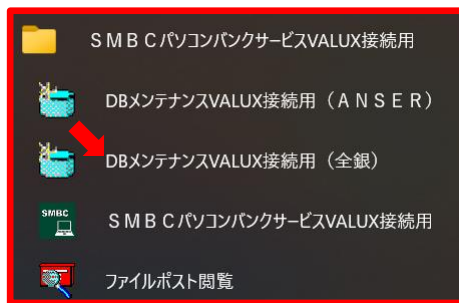
Step 1. 事前作業

1 データのバックアップ

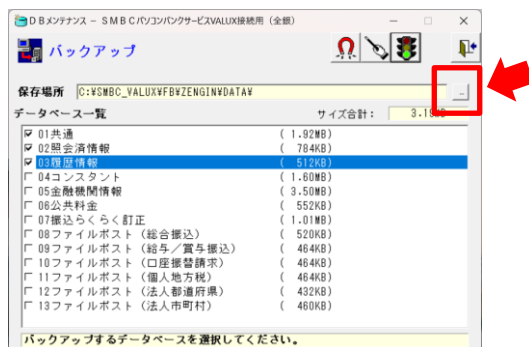
- 現在ご利用中の全銀、ANSERそれぞれのデータのバックアップを取得してください。

全銀

- 1 Windowsのスタートボタンから「SMBCパソコンバンクサービスVALUX接続用」のグループアイコンを選択し、「DBメンテナンスVALUX接続用(全銀)」をクリックしてください。



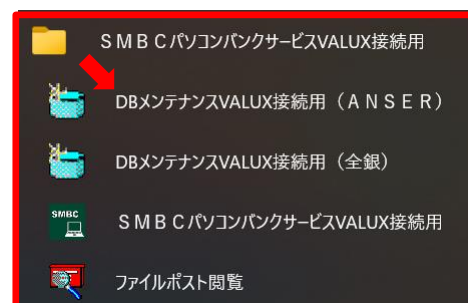
- 2 DBメンテナンス画面から「バックアップ」を選択してください。
- 3 【フォルダ選択】ボタンをクリックし、保存場所を指定してください。



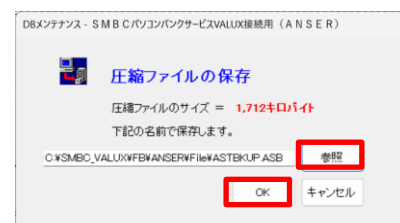
- 4 【全選択】ボタンをクリックしてください。
- 5 【開始】ボタンをクリックしてください。
- 6 バックアップ取得の確認メッセージが表示されますので【はい】をクリックすると、データのバックアップが完了します。

ANSER

- 1 Windowsのスタートボタンから「SMBCパソコンバンクサービスVALUX接続用」のグループアイコンを選択し、「DBメンテナンスVALUX接続用(ANSER)」をクリックしてください。



- 2 DBメンテナンス画面から「バックアップ」を選択してください。
- 3 「マスタの退避を行います」のメッセージが表示されますので、【OK】ボタンをクリックしてください。
- 4 「データベースファイルの圧縮」のメッセージが表示されますので、【OK】ボタンをクリックしてください。
- 5 保存場所の確認画面が表示されます。【参照】ボタンより保存場所を指定し、【OK】ボタンをクリックすれば、データのバックアップが完了します。



バックアップ完了

Step 2. インストール

1 Access Runtimeのインストール

パソコンバンクVALUX接続用を導入前にAccessRuntimeのインストールが必要です。

新しいパソコンにMicrosoft社提供のOfficeシリーズを導入済みの場合、Officeシリーズのバージョンにより、インストールするAccess Runtimeが異なります。インストールするAccess Runtimeは下記の表をご覧ください。導入済みのOfficeバージョンの確認方法はp.6をご覧ください。

※ インストールにはWindowsの管理者権限(アドミニストレータ)が必要です。

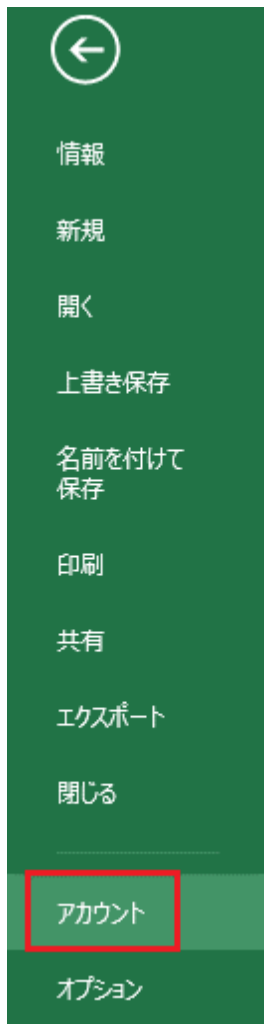
No.	導入済みのOfficeバージョン	導入するAccess Runtime	Access導入済みの場合
1	なし	Access Runtime 2016	—
2	Office2013(MSI形式)	Access Runtime 2013	Runtimeの導入は不要です
3	Office2013(C2R形式)	Access Runtime 2013	Runtimeの導入が必要です
4	Office2016(MSI形式)	Access Runtime 2016	Runtimeの導入は不要です
5	Office2016(C2R形式)	Access Runtime 2013(注1)	Runtimeの導入が必要です
6	Office2019(C2R形式)	Access Runtime 2013(注1)	Runtimeの導入が必要です
7	Office2021(C2R形式)	Access Runtime 2013(注1)	Runtimeの導入が必要です
8	Office365(C2R形式)	Access Runtime 2013(注2)	Runtimeの導入は不要です

(注1)Officeシリーズの仕様上の問題で、Access Runtime 2016が導入不可であるため、Access Runtime 2013を導入してください。
 (注2)Office365のBusiness Basic等、Accessが含まれていない製品をご利用の場合は、Access Runtime 2013を導入してください。

導入済みOfficeのバージョンの確認方法

パソコンバンクサービスVALUX接続用を導入予定のパソコンにOfficeが導入されている場合、Officeのバージョン情報をご確認ください。確認後、導入するAccessRuntimeをp.5の表で確認したうえでインストール行ってください。以下はExcelを使った確認方法です。

- 1 Excelを起動し、[ファイル]タブをクリックしてください。
- 2 展開したメニューより「アカウント」をクリックします



- 3 製品情報画面が表示されますので、Excelのバージョン情報でバージョンを確認します。

図1 Office2016 (MSI形式)



✓ **確認結果がOffice2016だった場合**

Office2016の場合、p.5の表 (No4、No5) の通り、MSI形式、C2R形式で導入するAccessRuntimeが異なります。その場合は製品情報画面の「更新オプション」の有無をご確認ください。

更新オプション: なし⇒MSI形式 (図1)

更新オプション: あり⇒C2R形式 (図2)

図2 Office2016 (C2R形式)

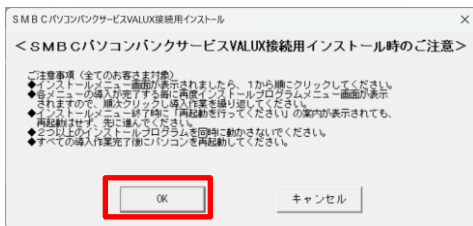


AccessRuntime 2013/2016をインストールする場合

- 1 新しいパソコンのCD-ROMドライブにパソコンバンクサービスVALUX接続用のCD-ROMをセットしてください。自動的にインストール時のご注意画面が表示されます。

【OK】ボタンをクリックしてください。

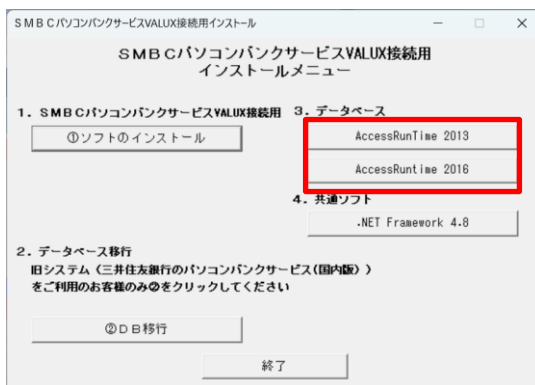
※自動で表示されない場合は、エクスプローラーからCD-ROMドライブの中にあるSetupMenu.exeを実行してください



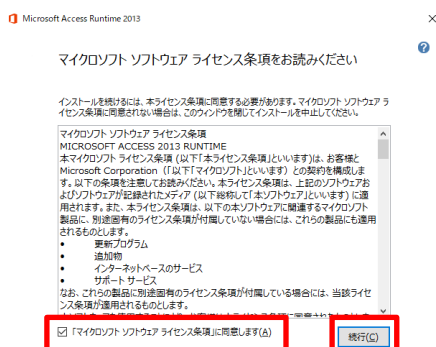
- 2 インストールメニュー画面が表示されますので、事前に確認のOfficeのバージョン情報を元に

- AccessRuntime2013
- AccessRuntime2016

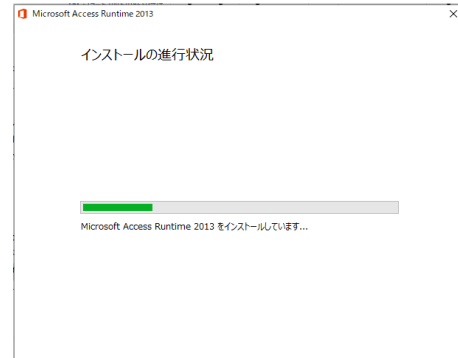
いずれかをクリックしてください。



- 3 「マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項に同意します」にチェックし、【続行】ボタンをクリックしてください。



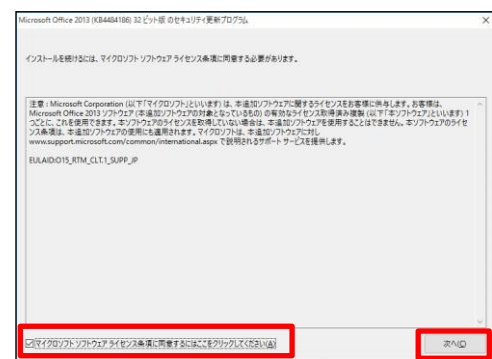
- 4 インストールが開始されますので、100%になるまでお待ちください。



- 5 インストール完了画面が表示されます。【閉じる】ボタンをクリックしてください。

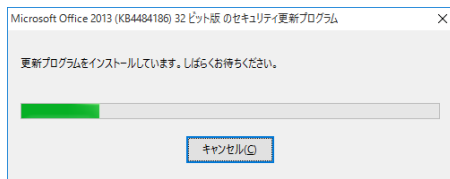


- 6 Microsoft Officeのセキュリティ更新プログラムが表示されます。「マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」にチェックし、【次へ】ボタンをクリックしてください。

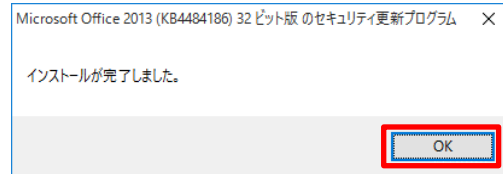


Step 2. インストール

- 7 インストールが開始されますので、100%になるまでお待ちください。



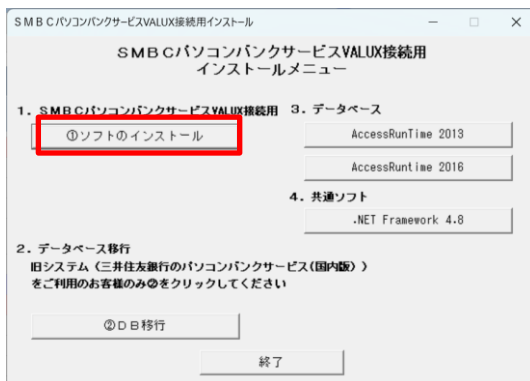
- 8 インストール完了画面が表示されます。【OK】ボタンをクリックしてください。



インストール完了

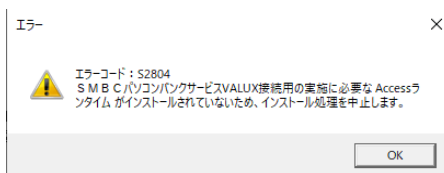
2 パソコンバンクサービスVALUX接続用のインストール

- 1 インストールメニュー画面が表示されますので、「①ソフトのインストール」をクリックしてください。



下記エラー画面がでた場合(1)

「①ソフトのインストール」の前に AccessRuntime のインストールが必要です。詳しくは、P5をご参照ください。



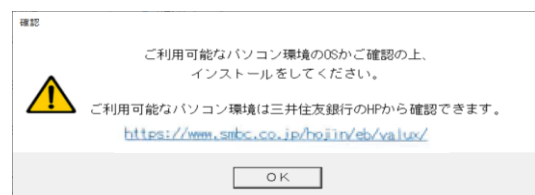
下記エラー画面がでた場合(2)

.NET Framework4.8が導入されていない場合、以下のエラー画面が表示されます。この画面が表示された場合は、P8①のインストールメニュー画面の「.Net Framework 4.8」をクリックし、インストールが完了するまでお待ちください。

※パソコンによって、インストールにかかる時間は異なります。

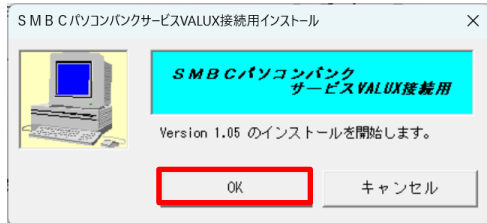


- 2 インストール環境の確認メッセージが表示されます。ご利用可能な環境であることを確認のうえ、【OK】ボタンをクリックしてください。
※URLをクリックすることでご利用可能な環境を確認可能です。



Step 2. インストール

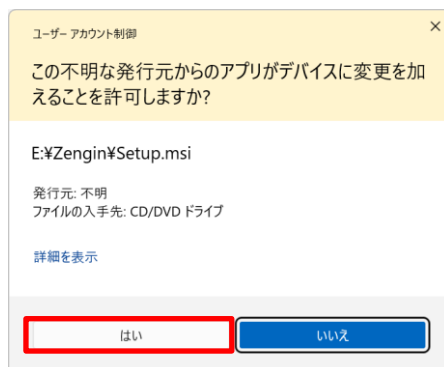
- ③ バージョンの確認画面が表示されます。
【OK】ボタンをクリックしてください。



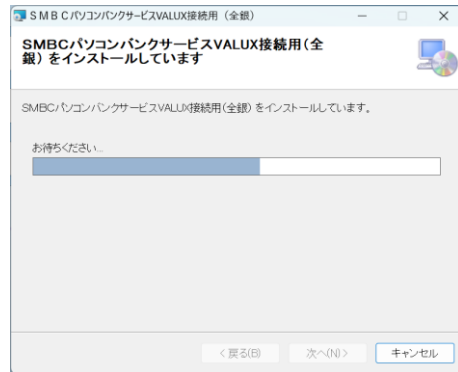
- ④ インストール先ドライブの確認画面が表示されますので、インストール先ドライブを選択し【OK】ボタンをクリックしてください。



- ⑤ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。



- ⑥ インストール準備中の画面が表示された後、引き続きインストールの導入画面が表示されます。100%になるまでお待ちください。インストール完了の画面が表示されましたら【閉じる】ボタンをクリックしてください。



- ⑦ 引き続きANSERのセットアップ画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックしてください。

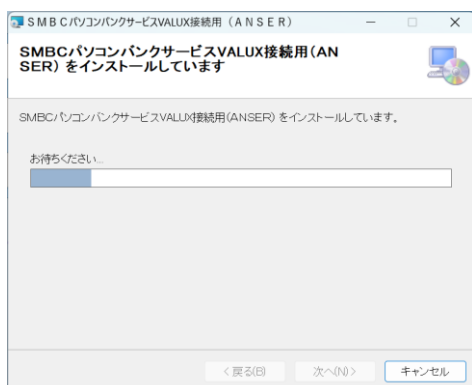


- ⑧ インストールの確認画面が表示されますので【次へ】ボタンをクリックしてください。



Step 2. インストール

- 9 進捗状況の確認画面が表示されます。
100%になるまでお待ちください。



- 10 インストール完了の画面が表示されましたら【閉じる】ボタンをクリックしてください。



- 11 しばらくお待ちいただくと「インストール処理が完了しました」のメッセージが表示されます。【OK】ボタンをクリックしてください。

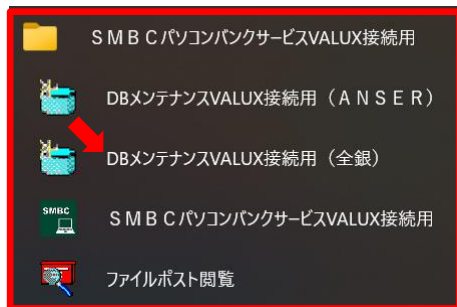
インストール完了

すべてのインストールが完了しましたら、インストールメニュー画面を終了し、CD-ROMを取り出した後、パソコンを再起動してください。

Step 3. データ復旧

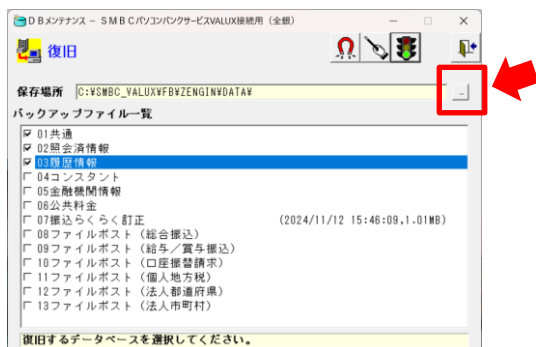
1 全銀データベースの復旧

- 1 Windowsのスタートボタンから「SMBCパソコンバンクサービスVALUX接続用」のグループアイコンを選択し、「DBメンテナンスVALUX接続用(全銀)」をクリックしてください。



- 2 DBメンテナンス画面から「復旧」を選択してください。

- 3 復旧画面が表示されましたら、【フォルダ選択】ボタンをクリックし、取得したバックアップファイルの保存場所を指定してください。



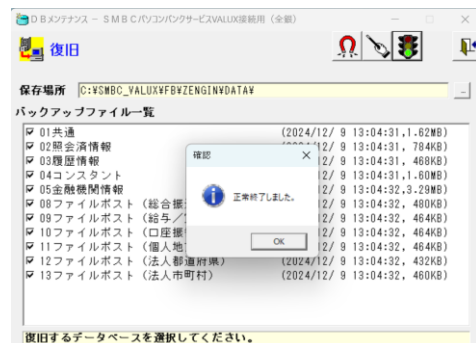
- 4 【全選択】ボタンをクリックしてください。

- 5 【開始】ボタンをクリックしてください。

- 6 確認画面が表示されます。【はい】ボタンをクリックしてください。

- 7 「正常終了しました」のメッセージが表示されればデータベースの復旧は完了です。続けて

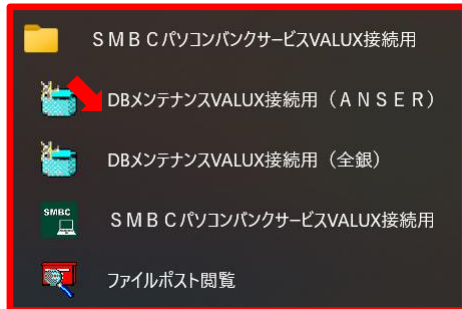
p.12 2 「ANSERデータベースの復旧」にお進みください。



復旧完了

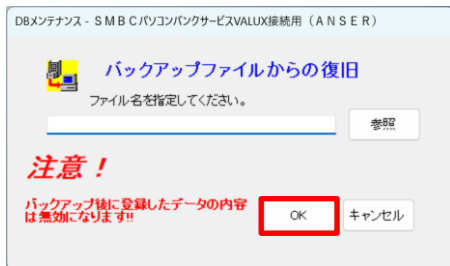
2 ANSERデータベースの復旧

- 1 Windowsのスタートボタンから「SMBCパソコンバンクサービスVALUX接続用」のグループアイコンを選択し、「DBメンテナンスVALUX接続用(ANSER)」をクリックしてください。

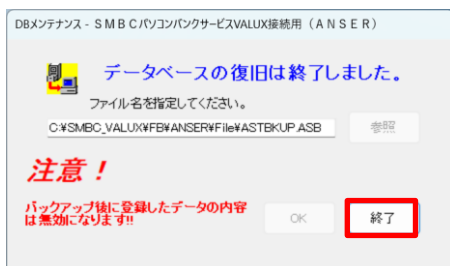


- 2 DBメンテナンス画面から「復旧」を選択してください。

- 3 バックアップファイルからの復旧画面が表示されましたら、【参照】ボタンをクリックしてください。取得したバックアップファイルの保存場所を指定し、【OK】ボタンをクリックしてください。



- 4 「データベースの復旧処理が終了しました」の画面が表示されれば完了です。【終了】ボタンをクリックしてください。



復旧完了

Step 4. 電子証明書管理・その他

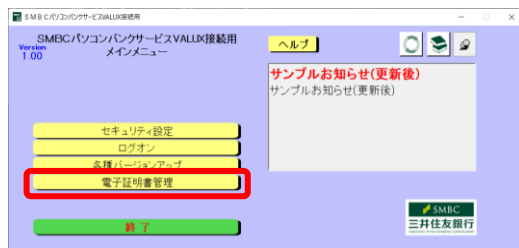
1 電子証明書管理

VALUX版ご利用にあたり、電子証明書の取得が必要です。

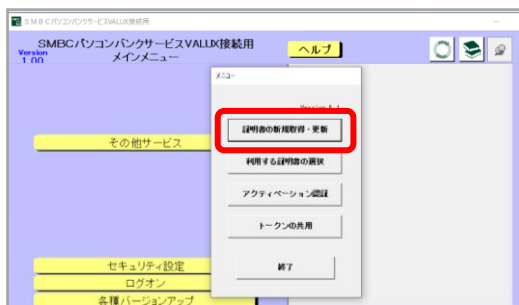
<注意>

- ・実際の担当者がご利用いただくVALUX版がインストールされているPCで電子証明書をダウンロードする必要があります。
- ・VALUX電子証明書は、ダウンロード操作を行ったWindowsのサインインユーザーのみ利用可能です。よって担当者以外のWindowsのサインインユーザーで電子証明書のダウンロードを行った場合、そのサインインユーザー以外では利用できませんのでご注意ください。

- 1 メインメニューから「電子証明書管理」をクリックしてください。



- 2 『電子証明書メニュー』画面が表示されます。【証明書の新規取得・更新】をクリックしてください。



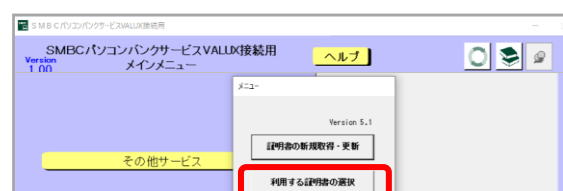
- 3 【証明書の新規取得】ボタンをクリックしてください。



- 4 証明書の取得に必要な以下の情報をご入力頂き、【取得】ボタンをクリックしてください。

- ・企業ID／証明書ID／ワンタイムパスワードは事前にNTTデータから送付されるID通知書に記載の内容をご入力ください。
- ・パスフレーズは、NTTデータへVALUXご契約時に申請の内容をご入力ください。
- ・証明書ニックネームは、取得した証明書の判別用のため内容の指定はございません。管理がしやすいようにわかりやすい名前をご入力ください。

- 5 【利用する証明書の選択】ボタンをクリックしてください。



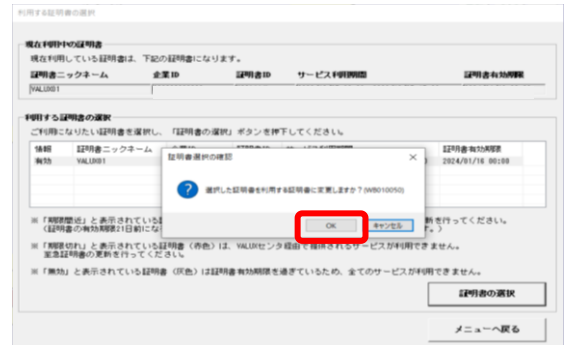
Step 4. 電子証明書管理・その他

- ⑥ 利用する証明書を一覧から選択して、【証明書の選択】ボタンをクリックしてください。



- ⑦ 「証明書選択の確認」画面の【OK】ボタンをクリックしてください。

正常終了のメッセージが表示されたら電子証明書の設定は完了です。



ダウンロード完了

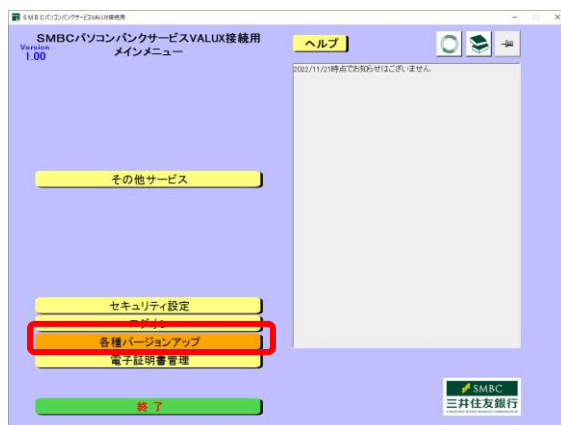
2 ソフトのバージョンアップ

ご利用のソフトが最新バージョンでない場合、プログラムバージョンアップを行ってください。

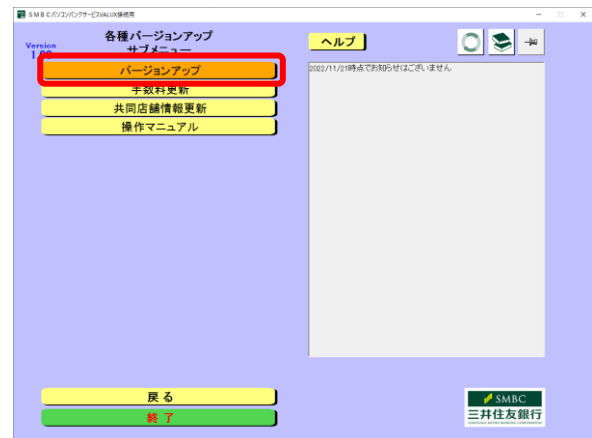
<注意>

- ・プログラムバージョンアップを行うとSMBCパソコンバンクシステムVALUX接続用の動作に関わるファイル等の更新が実施されます。
- ・プログラムバージョンアップはシステム管理者でのみ実行可能です。

- ① メインメニューから「各種バージョンアップ」をクリックしてください。
※ご利用のパソコンが最新バージョンではない場合のみ、色のボタンとなります。

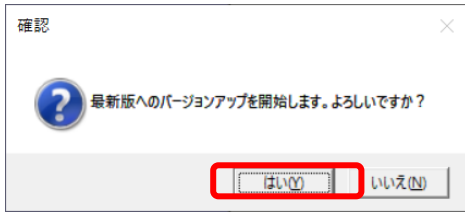


- ② 各種バージョンアップサブメニューが表示されます。「バージョンアップ」をクリックしてください。

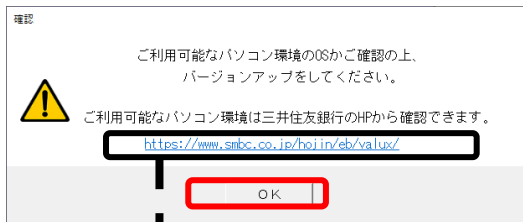


Step 4. 電子証明書管理・その他

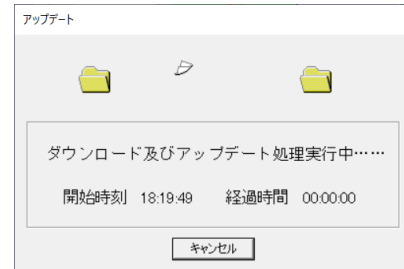
- 3 確認画面が表示されます。【はい】ボタンをクリックしてください。



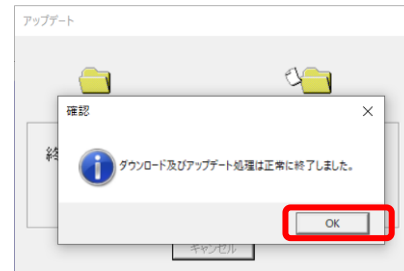
- 4 <ご利用可能なパソコン環境確認>が表示されます。【OK】ボタンをクリックしてください。
～URL～
URLをクリックすると既定のブラウザが起動し、ご利用可能なパソコン環境について詳細に記載したページが表示されます。



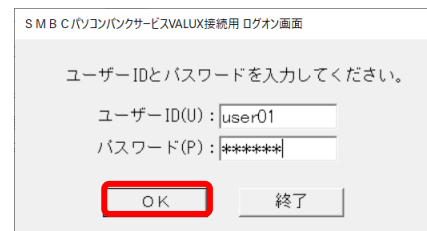
- 5 <アップデート>が表示されます。ダウンロード及びアップデート処理が終了するまでしばらくお待ちください。



- 6 ダウンロード及びアップデート処理が終了後、<確認>が表示されます。【OK】ボタンを押してください。



- 7 パソコンバンクソフトが自動的に再起動され、『ログオン』画面が表示されますので、任意のユーザー情報を入力して【OK】ボタンを押してください。



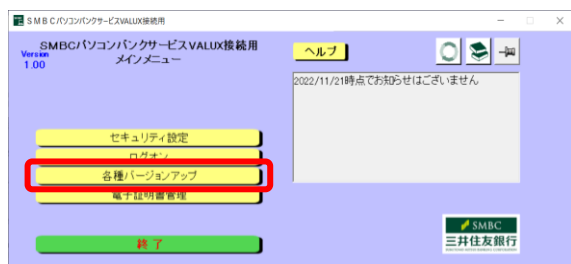
バージョンアップ完了

Step 4. 電子証明書管理・その他

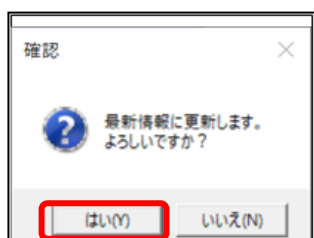
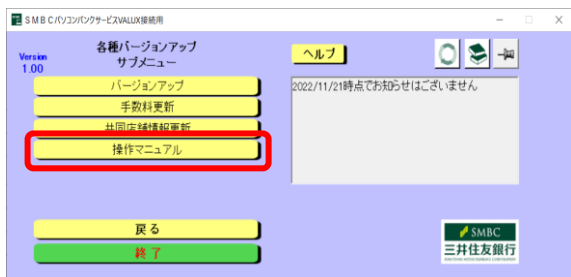
3 操作マニュアルのダウンロード

VALUX版の操作マニュアルは、ソフト内よりダウンロードが可能です。
各種設定や操作要領に関しては、操作マニュアルをダウンロードの上、ご確認ください。

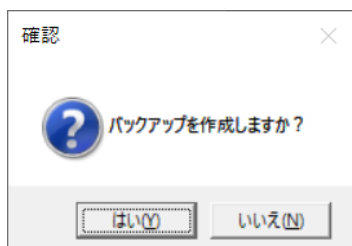
- 1 メインメニューから「各種バージョンアップ」をクリックしてください。



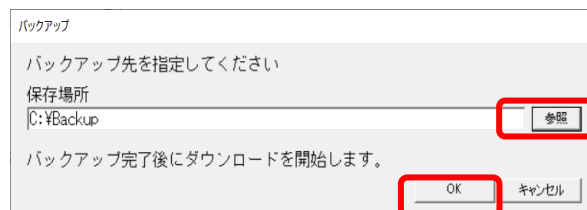
- 2 「操作マニュアル」ボタンを押してください。メッセージが表示されますので、【はい】ボタンをクリックしてください。



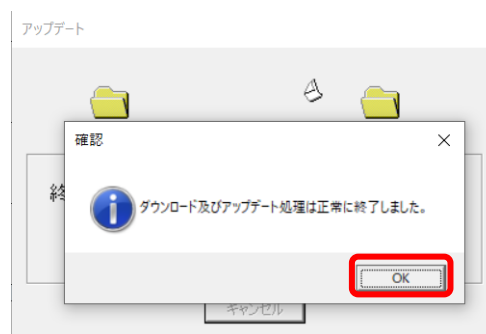
- 3 <バックアップ作成確認>が表示されます。バックアップを作成する場合:【はい】ボタンを押して、④に進んでください。バックアップを作成しない場合:【いいえ】ボタンを押して、⑤に進んでください。



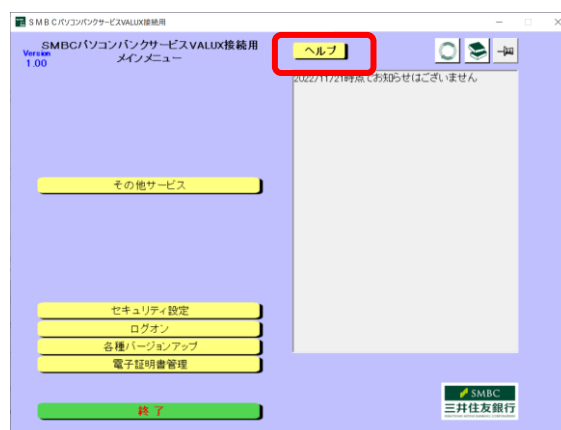
- 4 保存先を指定します。「参照」ボタンを押して保存先を指定し「OK」ボタンをクリックしてください。



- 5 アップデートが始まります。<確認>が表示されましたら、【OK】ボタンをクリックしてください。



- 6 ダウンロードしたマニュアルについては、メインメニューの「ヘルプ」ボタンより、ご確認ください。



ダウンロード完了

Step 5. 確認

1 復旧済データの確認

全銀データベース、ANSERデータベースのデータベース復旧処理が完了後、パソコンバンクサービスVALUX接続用を起動し、日常ご利用されているサービスのデータ有無をご確認ください。

2 通信確認

取引口座照会、データ伝送(総合振込、給与振込等)いずれかのご利用サービスを用いて通信確認を行ってください。総合振込、給与振込等のデータを使ってテスト送信を行う場合は、p.18 [4](#)「データ伝送のテスト送信」をご覧ください。なお、通信確認を行う前に、あらかじめインターネット回線が接続されているか確認したうえで通信確認を行ってください。

インターネット接続状況の確認方法

- 1 以下URLを入力し、表示されたページの「VALUXご利用環境の確認」ボタンをクリックしてください。

<https://www.valux.ne.jp/process/process02.html>

- 2 問題無く接続されている場合は、以下画面が表示されます



- ②の画面が表示されていない場合
ご利用パソコンのインターネット接続環境をご確認ください

3 印刷確認

パソコンバンクサービスVALUX接続用を起動し、普段ご利用されているサービス画面から帳票が正しく出力されるかご確認ください。

4 データ伝送のテスト送信

当行あての総合振込等のテスト送信を行うには、テスト環境への変更操作が必要です。また、テスト送信を行う際は、以下条件で行ってください。

条件

- ✓ テスト送信は銀行営業日9:00～19:00の時間帯で行ってください。（事前にお申込やご連絡は不要です）
- ✓ テスト送信の振込明細の件数は2件以上ご準備ください。
- ✓ 振込金額は各明細につき1円以上で設定してください。
- ✓ 振込指定日はテスト送信実施日の20営業日前～送信実施日前営業日の過去日付を指定してください（過去日付に休日を指定した場合エラーとなります）。

テスト環境への変更

- 1 メインメニューから[口座情報・運用環境登録]をクリックし、[全銀システム通信情報登録]をクリックしてください。
- 2 センター一覧画面が表示されますので「三井住友銀行センター／テスト用」を選択し【変更】ボタンをクリックしてください。
- 3 銀行センター確認コードが「00090000000000」であることをご確認ください。

- 4 テスト送信でご利用の出金口座が東日本の取引店の場合は【↑ 設定 (東京)】ボタンを、西日本の取引店の場合は【↑ 設定 (大阪)】ボタンをクリックしてください。
- 5 電話番号が東日本(西日本)地区、いずれかの番号に変わったことを確認いただいた後、【保存】ボタンをクリックしてください。

地区	電話番号
東日本(静岡より以东)	03-5444-4800
西日本(愛知より以西 く福井、富山)を含む)	06-6258-5200

- 6 【メニューへ】ボタンをクリックし、[口座情報・運用環境登録]のサブメニューに戻り、[全銀システム口座情報登録]をクリックしてください。
- 7 口座情報一覧画面から、今回テスト送信でご利用の出金口座を選択し、【変更】ボタンをクリックしてください。
- 8 現在の設定されている銀行センター確認コードを控えたのち、テスト用の銀行センター確認コード「00090000000000」に変更し、【保存】ボタンをクリックしてください。

テスト送信

総合振込でテスト送信を行う場合の要領は以下の通りです
(給与振込等、他のサービスで行う場合も同じ要領で行ってください)

- 1 メインメニューから[総合振込]をクリックしてください。
- 2 出金口座情報の画面から、【新規登録】ボタンをクリックしてください。
- 3 【口座一覧】ボタンより、p18⑧で変更した出金口座を選択し、総合振込用の会社コードを選択してください。

- 4 振込日を20営業日前～送信実施日前営業日の銀行営業日の過去日付を指定し、【保存】ボタンをクリックしてください。
- 5 振込先明細の画面から2件以上のデータを作成し、それぞれ1円以上の金額を指定してください。
- 6 振込明細内容確認画面より【確認】ボタンをクリックし、送信画面に進んでください。

- 7 銀行センター確認コードがテスト用のコード「00090000000000」が選択されているのを確認し、通信暗証、送信暗証を入力して通信してください。

- 8 テスト送信が完了しましたら、出金口座情報より、テストデータを選択し、【削除】ボタンで削除してください。
- 9 メインメニューから[口座情報・運用環境登録]をクリックし、[全銀システム口座情報登録]画面からテスト送信で利用した出金口座を選択し、銀行センター確認コードを元のコードに戻してください。

テスト完了

お問い合わせ（くわしくは、三井住友銀行のEBサービスセンターへ、お気軽にご相談ください）

三井住友銀行の
EBサービスセンター



0120-286-201

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00
（銀行休業日を除きます）

お電話が込み合っている場合、本件に関する電話サポートについて翌営業日とさせていただきます。

（2025年3月現在）



SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION